

# 家庭科の学習案内

## 学習のねらい

家庭科では・・・衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して学習を進めます。

- ①日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けます。
- ②家庭生活を大切にする心情をはぐくみます。
- ③家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

## 学習内容

家庭科は第5・6学年で学習します。2学年間の学習の見通しをもたせるためのガイダンスが設立され、第5学年の最初に学習します。ガイダンスの内容はその後2学年間の学習を進めながら「自分の成長」を感じられるようになっていきます。

家庭科の内容は中学校での家庭科学習に接続するように、ほぼ同じ3つの内容で構成されています。

- A 家族・家庭生活** ・自分の成長や家庭の仕事、家族や近隣の人々とのかかわり
- B 衣食住の生活** ・食事の役割や栄養、調理の基礎（調理実習）、衣服の着方や手入れの仕方、快適な住まい方、生活に役立つ物の製作（製作実習）
- C 消費生活・環境** ・物や金銭の使い方と買物、環境に配慮した生活の工夫

## 評価のポイント

|                 |                                                                                                     |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【知識及び技能】        | 実習の様子や、調理・製作した作品から評価します。また、身に付けた「知識及び技能」を身近な生活に活用することができているか、テストやワークシート、家庭実践の様子（ワークシート・発表会）から評価します。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】  | 生活をよりよくしようと考え、判断したり、表現したりして快打を解決する等しているかをワークシートや発言から評価します。                                          |
| 【主体的に学習に取り組む態度】 | 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を学習や家庭実践の取組への意欲から評価します。              |



## ご家庭へのお願い

- 家庭科は家庭生活との関連が深い教科です。日常の家庭生活の様子について記録したり、家族にインタビューしたりする学習活動があります。また学習したことを家庭生活に生かし、継続して実践できるように、家庭実践の機会を設けていますので、ご理解、ご協力をお願いします。
- 製作実習や調理実習等の用具や材料の準備をお願いします。